

指定管理者候補者の選定結果について

北区産業振興課所管の下記公園施設について、令和5年7月26日より指定管理者を公募しておりましたが、以下のとおり候補者を選定しました。

施設名	水の公園福島潟水の駅「ビュー福島潟」、水の公園福島潟 潟来亭、水の公園福島潟キャンプ場	区分	公募
所在地	新潟市北区前新田乙493番地 外		
施設の概要	水の駅「ビュー 福島潟」	平成9年7月に設置され、6階展望ホールや映像展示室などがあり、水の公園福島潟の管理棟及び自然保護や地域文化の情報発信機能を有する施設	
	潟来亭	平成9年3月に設置され、昭和30年代の民家を再現し、囲炉裏があるヨシ葺き屋根の休憩施設	
	キャンプ場	平成9年7月に設置され、キャンプをとおして福島潟の自然を体感できる施設	
指定管理者 申請者 評価会議	委員 五十嵐 隆吉（地域コミュニティ葛塚連合 会長） 委員 斎藤 春行（新潟市北区観光協会 副会長） 委員 加藤 豊（新潟北土地改良区 理事長） 委員 吉川 夏樹（新潟大学農学部 教授） 委員 高橋 浩（高橋勲税理士事務所 税理士）		
指定管理者 (候補者)	福島潟推進グループ 代表者 愛宕商事株式会社 代表取締役 高橋 克郎 住 所 新潟市中央区東堀通一番町494番地3 構成団体 アイビス技建株式会社、グリーン産業株式会社		
指定期間（予定）	令和6年4月1日～令和11年3月31日		
選定理由	<p>選定にあたっては、2団体から応募があり、評価会議で応募者から提出を受けた事業計画書等についてプレゼンテーション及びヒアリングを実施。「福島潟の自然文化の推進」「施設の平等利用の確保」「施設効用の最大限の発揮と管理経費の縮減」「事業計画に沿った管理を安定して行う能力」等を選定基準に評価を行い、各委員からの意見と評価結果を参考に検討した結果、上記の候補者を選定した。</p> <p>(理由)</p> <p>当該候補者は、自然保護・育成に向けた取組みに加え、自主事業として福島潟の魅力を活かした企画運営を積極的に進め、施設・設備の有効活用とサービス向上及び来場者数増の具体的な提案があった。また、地域との関係性を重視した取り組みなど総合的に優れた提案と判断した。</p> <p>なお、候補者選定の参考とした評価会議での結果は、別表のとおりである。</p>		
現在の指定管理状況との主な変更	地元をはじめとする地域活動への積極的な参加や協力を通して地域との信頼関係を確立する。また、新たな自主事業やSNSを活用した情報発信の強化により来場者の増加と利便性の向上を図る。		
スケジュール	<p>第1回評価会議 7月 7日 ※仕様書・選定基準・評価項目の決定 公募要項等配布 7月26日～9月20日 公募説明会 8月 8日 質問受付 8月 9日～8月18日 応募受付 8月30日～9月20日 第2回評価会議 10月16日 今後、市会での審議・議決を経て、指定管理者に指定される。</p>		
所管部署 (問い合わせ先)	北区産業振興課 文化・スポーツグループ TEL：025-387-1195（直通） E-mail：sangyo.n@city.niigata.lg.jp		

別表（評価結果）

選定基準・評価項目		配点	候補者	A
福島潟の「自然文化」の推進	自然文化に資する事業展開	10点	9.2点	8.8点
	市民団体との協働連携とボランティアの受け入れ等	10点	7.6点	8.4点
施設の平等利用の確保	事業理念・運営方針	5点	4.4点	4点
	事業の実施内容及び施設の管理方法	5点	4点	3.6点
施設の効用を最大限に発揮し、管理経費の縮減が図られる	本市の施策に対する理解	5点	4.2点	4点
	事業計画の具体性・実現性	5点	3.8点	4点
	予算の範囲内での適正な執行	5点	3.8点	3.8点
	入館者数等の増加の取り組み	10点	9.2点	6.8点
	要望や苦情への対応	5点	4点	3.8点
	自主事業の提案内容	10点	8.8点	6.4点
事業計画に沿った管理を安定して行う能力	経営状況の安定性・信頼性	5点	4.2点	3.8点
	従業員の雇用・労働条件	5点	4.2点	3.6点
	人材育成の取り組み	5点	4.2点	3.2点
	安全確保・災害時の対応	5点	3.8点	3.8点
	環境保護の取り組み	5点	4点	4点
	個人情報保護の取り組み・関係法令の遵守	5点	4.2点	4点
合計		100点	83.6点	76点

※点数は、評価会議の委員5名の平均